

# 音 楽

| 発行者 |       |       | 教科書の記号・番号   | 判型<br>総ページ数   | 検定済年<br>(調査冊数)    |
|-----|-------|-------|---|---------------|-------------------|
| 番号  | 名称    | 略称    |   |               |                   |
| 17  | 教育出版  | 教 出 ◆ | 音楽 1 0 3    2 0 3    3 0 3<br>4 0 3    5 0 3    6 0 3 | A B 変型<br>514 | 令和5年<br><br>(12冊) |
| 27  | 教育芸術社 | 教 芸 ◆ | 音楽 1 0 4    2 0 4    3 0 4<br>4 0 4    5 0 4    6 0 4 | A B 変型<br>508 |                   |

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

小学部 音楽(聴覚障害特別支援学校)

| 発行者    |   | 教出  | 教芸   |
|--------|---|---|--|
| 内<br>容 | 聴覚障害のある児童が興味・関心をもって取り組むことができる单元等について<br>①動きを模倣する活動など、視覚的な情報で学習活動が工夫できるもの                            | ☆☆☆☆ 53箇所<br>①2年「はくやドレミとなかよし」では、教師や友達の模倣をして拍やリズムを表現する活動があり、視覚的な情報で学習活動が工夫ができる。(P20-21)  | ☆☆☆ 34箇所<br>①1年「わらべうたをきいたりうたったりしてあそびましょう」では、教師や友達の模倣をして、わらべ歌を歌いながら絵を描いたり、大縄跳びを跳んだりする活動があり、視覚的な情報で学習活動が工夫できる。(P66-67)   |
|        | 聴覚障害への配慮を要する内容等について<br>①音の重なりによる響きを感じ取ることがねらいになっており、学習活動に困難が想定されるもの<br>②演奏や歌唱の聞き比べ等、学習活動に困難が想定されるもの | ★★★ 51箇所<br>①6年「せん律のひびき合い」では、グループに分かれ、全体の響きを聞き合いながら演奏する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P28-29)<br>②5年「音楽のききどころ」では、楽器の特徴や旋律の変化を聴き取る活動があり、学習の際に配慮を要する。(P52-53) | ★★★★ 77箇所<br>①5年「和音のひびきの移り変わりを感じ取ろう」では、声の重なりを感じながら合唱する活動があり、学習の際に配慮を要する。(P36-37)<br>②2年「せいかつの中にある音を楽しもう」では、身の回りにいる動物の鳴き声を使って音楽をつくる活動があり、学習の際に配慮を要する。(P28-29) |
| 構成上の工夫 | 説明資料の箇所数  | 43箇所  | 38箇所   |
|        | 障害の状態に応じた事項、その他<br>①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの  | ①4年「はくとせんりつ」では、拍子の違いが比較しやすいよう、図等で視覚的に説明している。(P14-15)  | ①3年「せんりつの重なりをかんとろう」では、リコーダーで低い音を出すときの息の流れをホースから出る水の流れに見立て、イラストで視覚的に説明している。(P48-49)   |
| 参考     | 国旗・国歌の扱い  | あり  | あり   |
|        | 防災や自然災害の扱い  | あり  | あり   |
|        | オリンピック・パラリンピックの扱い   | あり  | あり   |
|        | 固定的な性別役割分担意識に関する記述等   | なし  | なし   |

小学部 音楽(肢体不自由・病弱特別支援学校)

|        | 発行者  | 教出  | 教芸   |
|--------|--|---|--|
| 内<br>容 | <p>肢体不自由・病弱の児童が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①上肢の操作を伴うものであっても、学習活動が工夫できるもの</p>   | <p>☆☆☆☆ 49箇所</p> <p>①1年「うたってうごいてみんなでおんがく」では、わらべうたを歌いながら動きを合わせて遊ぶ活動があり、動きを簡略化するなど学習活動の工夫ができる。(P14-15)</p>  | <p>☆☆☆☆ 41箇所</p> <p>①5年「いろいろな音のひびきを味わおう」では、児童が演奏しやすい打楽器やリズムパターンを選択するなど学習活動の工夫ができる。(P30)</p>  |
|        | <p>肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</p> <p>①上肢の操作を伴うため、楽器の演奏等の学習活動に困難が想定されるもの</p> <p>②心疾患等に関わる配慮が必要なもの</p> <p>③各学年の児童数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの</p> | <p>★★★★ 57箇所</p> <p>①2年「はくやドレミとなかよし」では、鍵盤ハーモニカの運指を示してあり、学習活動に困難が想定される。(P29)</p> <p>②1年「こんにちはけんぱんハーモニカ」では、様々な息の吹き入れ方を行う活動があり、配慮を要する。(P33)</p> <p>③3年「ミッキーマウスマーチ」では、6つのパートに分かれて合奏する活動があり、取扱いが困難と思われる。(P66-67)</p> | <p>★★★★ 61箇所</p> <p>①6年「音楽で思いを伝えよう」では、リコーダーの運指が示してあり、学習活動に困難が想定される。(P53)</p> <p>②1年「どれみとなかよくなるう」では、鍵盤ハーモニカに長く息を吹き入れる活動があり、配慮を要する。(P35)</p> <p>③4年「スーパーカリフラジリスティックエキスパイリドーシャス」では、7つのパートに分かれて合奏する活動があり、取扱いが困難と思われる。(P80)</p> |
| 構成上の工夫 | <p>説明資料の箇所数</p>  | 43箇所  | 38箇所   |
|        | <p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されているもの</p> <p>②写真、図絵等で視覚的に示されているもの</p>   | <p>①各学年の巻末に、「『音楽のもと』まとめ」として、学習と関連した内容がまとめてある。(5年P78など)</p> <p>②6年「音楽のききどころ」バイオリンとピアノのためのソナタ第4楽章では、旋律によって演奏に用いられる楽器が変わっていく様子がイラストで示されている。(P30)</p>   | <p>①各学年の巻末に、「ふりかえりのページ」として、学習のポイントをまとめてある。(3年P82など)</p> <p>②2年「くりかえしを見つけよう」トルコ行進曲では、異なる二つの旋律を図式化して示されている。(P42)</p>   |
| 参考     | 国旗・国歌の扱い   | あり  | あり   |
|        | 防災や自然災害の扱い   | あり  | あり   |
|        | オリンピック・パラリンピックの扱い  | あり  | あり   |
|        | 固定的な性別役割分担意識に関する記述等  | なし  | なし   |

